

漫画アニメゲームは必修科目だ！※諸説あり。

おうち時間が長くなっている今日この頃。漫画・アニメ・ゲームの世界にどっぷり浸っているという方も多いのでは。明治中高とつながりのある、こんな作品やあんな作品、ご存知ですか？

高田裕三 先輩

大人気漫画『3×3EYES』(アニメ・ゲームあり)で講社漫画賞を受賞された高田先輩(1981年卒)。「万能文化猫娘」、『碧奇魂ブルーシード』、『CAPTAIN アリス』ほか。『3×3EYES 鬼籍の闇の契約者』、『無号のシュネルギア』、『鳳凰』を連載中。



Comic

旧校舎周辺の風景が度々登場するのが、三田紀房『ドラゴン桜』。中高図書館にも所蔵のある、わたべ淳『遺跡の人』は、調布校舎建設前に行われた旧石器遺跡の発掘(今年の中2も学習したとのこと)に、バイトとして参加した経験を描く実録漫画。

Game

在校期間中、柴田拓磨先輩とのお笑いコンビ「シカバネ」(のち「シバカゼ」)でM-1 甲子園を制した風次先輩(2009年卒)。現在は「裏切りマンキーコング」(吉本興業)で、ゲームネタを多数披露。吉本のeスポーツプロチーム「よしもとゲーミング」では、実況・解説等を担う。

「裏切りマンキーコング Ch」(YouTube ゲーム実況)「第3回スプラトゥーン甲子園オンライン代表決定トーナメント」で準優勝の経験もある相方・にしざわ学園さんの攻めが気持ちよく、風次さんのほどよいタイミングで入るツッコミが笑いを誘う。5年前の動画と比べて格段にスピード感がアップしているのも面白い。(林田)

『3×3EYES』(漫画版)

さんじやんらんから 民俗学者の父に押し付けられた三只眼咩羅羅の妖怪・パイを人間にするため、藤井八雲が奮闘する物語。片言で一息懸命八雲に付いていくパイがとても魅力的！現在連載中の続編とは少し異なるバブル期の絵柄も、懐かしさを感じさせるベストセラー。(林田)

『万能文化猫娘』(アニメ版)

猫の脳が搭載された万能アンドロイド「ヌクヌク」をめぐるSFコメディ。林原めぐみさん演じるヌクヌクの破天荒で天然なキャラクターがキュート！(林田)

『遺跡の人』

終盤で著者が校舎建設後の現場を再訪し、想いを馳せる場面が印象的。先人の生活の上に我々の学舎があることを実感させられた。(坂本)

『Dr.スランプ アラレちゃん』

鳥山明作品で育った私。チタマ(地球)征服を企むニコチャン大王の声が、中高の先輩と知ったときには、どえりゃー驚いたがや。摘鶴天さんも大竹先輩。『ドラゴンボール』では兎人参化！(三浦)

『河童のクウと夏休み』『サマーウォーズ』

横川さんと同期です。『河童のクウと夏休み』(公開時は中2)も『サマーウォーズ』(公開時は高1)も、上映当時観に行ったのを覚えています。今回観直して懐かしくなりました。(朝倉)

歴研の春合宿で遠野を訪れた際、『河童のクウと夏休み』関連の看板等を見付け、栗野先生と盛り上がりました。(三浦)

漫画版『パーマン』。先輩の声で脳内再生しながら▶



『Pa-Pa-Pa ザ★ムービー パーマン』平成シリーズ。パーマン2号こと、天才チンパンジーのブービー(言葉は話せないが、意思疎通は可能)は、第1弾では「6600倍の歯茎」で大活躍、第2弾では運命的な出会いと驚きの指導力？(三浦)

Animation

俳優の三宅裕司先輩(1970年卒)は、映画『ドラえもん のび太と緑の巨人伝』にゲスト出演(長老ジイ)。

横川貴大さん(2012年卒)は、高い倍率のオーディションを勝ち抜き、映画『河童のクウと夏休み』の主人公・上原康一を好演。映画『サマーウォーズ』では、主人公の同級生役(佐久間敬)を演じた。今夏のテレビ放送をご覧になった方も多はず！

オトナの過程



Vol.6

2021年10月1日
総明会広報委員会
『M』編集部会

大竹宏 先輩

『パーマン』のパーマン2号(ブービー)、『Dr.スランプ アラレちゃん』のニコチャン大王など、数々のアニメ・ゲームで有名キャラを演じる声優・大竹先輩(1951年卒)。2013年会報の特集や、『カータンのなみだ 声優伝・大竹宏』もぜひ！

編集後記 あるいは「オタク」について

私事ですが、最近、突然声優への興味がわき、朗読CDやラジオ音源を購入したり、アニメを観たりははじめました。コロナ禍で生活の楽しみが奪われる中、本能的にストレス解消を求めたのかもしれませんが。人生初の「推し」ができたことで、その癒し効果に驚いています。一部で「オタク学部」と言われている国際日本学部出身の私が、今になってオタク心を知ることができました。皆さんの推しはありますか？本誌ではサブカルチャーの業界でご活躍される先輩やマンガ図書館を取り上げましたが、鬱屈する今だからこそ、サブカルの力で癒しを補給するのも良いかもしれません。(林田)

私たち明校OB・OGにとって、『過程』は馴染み深い。最早説明不要であろうが、毎年配られる生徒会活動報告である。今年の『M』メイン記事である「帰り道今昔」は、学校に通う/学校から帰る「過程」に着目したものだ。先日、明校近くを車で通った際、一緒にいた同期が「ここパスのルートだよな？懐かしい！」と言っていた。大先輩方からしたらまだまだ若造の私たちも、ノスタルジーに浸る歳になったのだ。読者の皆さん一人ひとりにもあるであろう、あの平凡だけれども紛れもなく青春だった一つの「過程」に浸りながら、読んでもらえたら嬉しい。(『過程』オタク・坂本)

今号の隠れテーマは「ホーム」。「オタク」の語源は、言うまでもなく「お宅(ホーム)だが、ステイホームが叫ばれる今、「お宅」で「オタク」することに、あらためて注目が集まる。1・4頁では、OB・OG会ならではの視点で、漫画・アニメ・ゲームを特集した。2・3頁では、ホームまでの帰り道に着目。4頁で扱った教育実習は、卒業生が3週間ホームに戻り、教壇に立つ経験だ。ともあれ本誌が、ホームでホーム(母校)を思い出すささやかなきっかけとなれば幸いである。(三浦)

「オトナの『過程』M」Facebookもご覧下さい！
編集部メンバー募集中！ m.meiji.soumeikai.koho@gmail.com

米沢嘉博 記念図書館 がパワーアップしてた件

旧校舎から徒歩一分。レンガ色の建物「米沢嘉博記念図書館」をご存知だろうか？米沢嘉博氏は、漫画を中心とした大衆文化の評論家で、一九七五年第一回コミックマーケットの創立メンバー。明大在学中から批評集団「迷宮」に参加していた。二〇〇九年、明大に一四万冊以上の図書資料が寄贈され、それをもとに記念館がつけられた。漫画の単行本・雑誌以外にも、同人誌・情報誌・アニメ誌などサブカル研究に欠かせない資料が揃う。一階は入場無料。米沢氏の功績やコレクションの紹介、時期によっては企画展のブースも設置される。一般の方も利用可能で、二階閲覧室で資料を取り寄せれば、漫画は読み放題、貴重資料も閲覧できる。

その巨大プロジェクト完成へ前進するように、二〇二二年三月より、米沢嘉博記念図書館に「現代マンガ図書館(内記コレクション)」の蔵書が加わった。一九七八年に内記稔夫氏が設立した「現代マンガ図書館」。もともと早稲田にあった施設だが、二〇〇九年に明大へコレクションを寄贈。このたび、そちらにあった資料を「米沢嘉博記念図書館」の近くへ移動させたことで、「米沢嘉博記念図書館」の閲覧室から申し込むだけで資料を閲覧できるようになった。記念図書館より少し離れたところにあるため、資料請求する時は、閉館ギリギリにならない方が良い。

男坂下すぐ！
サブカル研究の拠点！



教育実習体験記 (井畔)

2021年6月、本誌記者の(井畔杏里紗)が明校で教育実習。担当科目は(日本史B)。(コロナ禍)に悩む学校で、生徒の視点、教師の視点に立って、経験したこと、感じたことをお伝えする。

生徒目線

生徒は常に(マスク)を着用し、部活は(17時)まで。課外授業等が(中止)になった分、学校内で思い出を作りたいという声や、学年によっては、昼休みしか楽しくないという声もあった。従来の学校生活よりもさらに限られた時間の中で、楽しみを見つけるのは、少し難しいかもしれない。

教師目線

教師は生徒の体調を管理。特に(体温)。もちろん精神面も、生徒を常に見て判断する。生徒と接する時間が以前よりも限られる中で、生徒の(心)に寄り添う方法を考える。会話に加えて、(日直日誌)でのコミュニケーションも大切だと知った。「本音を話していいよ」という姿勢を示すことが重要なのだ。

卒業から3年！ なんだこれは！ OG目線！！

コロナにより昨年度は8月も授業があった。そのため(半そで白ポロシャツ)の着用、(ハンディ扇風機)の使用が許可された。コロナ関係以外でも、羨ましいほど怒濤の(導入祭り)が！(指定リュックサック)の導入、女子も(グレー)のセーター・ベスト導入。部活動バッグも部によってはデザインチェンジ。個性の表現や環境への対応で、生徒の行動の幅が広がった点は新しい。(明校の令和) 此処にあり。

※ポロシャツ・ハンディ扇風機については、田中元暁先生より、導入の背景をご教示いただきました。記して謝意を表する次第です。

特撮

『ウルトラマンゼアス』や『ウルトラマンマックス』20話には、鈴木正人先生・吹奏楽班が登場。本誌記者の同級生も、怪獣から逃げていました。中嶋理乃さん(2015年卒)は『仮面ライダー鎧武』に出演。大竹先輩は『オーレンジャー』『カーレンジャー』『ギンガマン』などで敵役の声をつとめています。高田先輩の漫画『ウルトラマン THE FIRST』も。

帰道今昔

調布・三鷹・矢野口の各バスと、自転車・徒歩通学（他に路線バスなど）。登下校のルートが違えば、一緒に帰る友人や、途中で見る景色も変わってくる。それぞれのルートに、固有の思い出や「あるある」エピソードがあるのだろう。生活・行動圏の重要な一部でもある登下校ルート。ノスタルジアを誘う、学校と自宅の〈あいだ〉を特集。

休日どこ集まる？

調布組は下北沢（移転直後は新宿が多かったか）、三鷹組は吉祥寺が多い。「文化祭終わったから次の休日みんなで打ち上げしよう！」というような場合、やっぱり集合場所は多数派・調布に。

「駅に近付いて来た」の目印は？

三鷹組のある卒業生は、いつも三鷹市役所前交差点・三鷹図書館・同警察署を通過した辺りで、「駅に近付いて来た」と感じていたそう。矢野口組にとっては、多摩川が目印だったという。

上だっけ？ 下だっけ？

猿楽町時代、帰路の決まり文句の1つだったのが、「上だっけ？ 下だっけ？」男坂の「上」（御茶ノ水・新御茶ノ水）か「下」（神保町）かで、一緒に帰るメンバーが決まった。「上」はその後新御茶と御茶ノ水（さらにJRと丸ノ内線）に分かれた。ちなみに1971年頃までは、都電というルートもあった（2000年会報参照）。

バスは学校の「顔」

「学校周辺に住んでて、自分は自転車通学でした。『明明出身だ』と地元の人に言うと、大抵『ああ、紫のバスが走ってるね』と返されるほど、バスの存在は認知されています。美容院の雑談でも、『あのバス何本走ってるの？』と聞かれたり。進学を検討している受験生とその親世代は学校見学に来たりするけど、そうでない世代はある意味バスの様子だけで学校の色を判断している節があります。バスの中の生徒の様子もよく見られているんだと感じます。」

「それだから、走るのだ」

帰路に比べ、余裕のない登校時。遅刻ギリギリの西調布ダッシュ・飛田給ダッシュも、今は良い思い出。朝練用の調布最終バスを逃した際、トレーニングだと思って調布から歩いたという話も。



キレイになった調布駅



調布 登校時は飛田給も

2014年度より運行。JR南武線矢野口駅。東急田園都市線・小田急小田原線ユーザーなど。



矢野口

それでも僕は矢野口が好き

「矢野口駅は2階建てで、1階は改札とスーパー、2階がホームでした。駅周辺は閑散としていて、南武線沿線にも目立った駅は無かったけれど、**落ち着く駅でした。**」

やのくっちーず

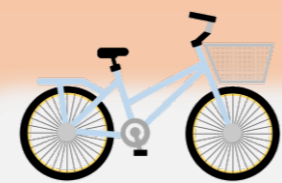
「矢野口組はその希少性と特別感から、仲間意識が強く一体感がありました。仲のいい何人かで「やのくっちーず」というグループを作り、和気藹々と登下校をしていたのは**良き青春の思い出**です。」



国立天文台
三鷹キャンパス

今日のバス当番は……？

「バス当番の先生、今日は誰だろうっていうのは、いつも気になっていました。」



自転車・徒歩



三鷹

自転車組の悲哀①

「自転車組は**天気**がどんなに悪くても登校出来ちゃうので、大雪の日、自転車組だけ教室にいたことも。結局休校になっちゃいましたが……。『**校**』への**あこがれ**がありました。」

自転車組の悲哀②

「入学当初（移転2年目）は、あまり自転車通学者がいまいませんでしたが、高皿までに年々増えていき、自転車小屋に入らなくなりました。15:10授業終了、15:30帰宅のイメージ。でも**明治中高はバス文化なので孤独**でした。部活の割と重要な案件が、自分の知らぬ間に、帰りの調布バス内で決まっていたなんてことも。翌日、『あ、その話知らない……』みたいな。」

見れば分かる

「誰が三鷹組か、違う学年でも、見れば何となく分かるようになっていました。」

はたして判定は!?

朝の遅延については、ある卒業生から、「遅刻しても良いから、何が何でも遅延証明書をもらおう！」との名言（迷言?）も飛び出した。ただ、登下校に市バスを使う生徒は、大雪などでも遅延証明書が出ず困るんだとか。一方、家が近いと遅刻しやすいというのも、自転車通学の「あるある」。ギリギリを攻める感じになっていくが、言い訳のしようもないとのこと。

取材・執筆協力：福田友輝さん（2018年卒）
担当：坂本（地元考証・写真）・井畔・小林・林田・三浦
※上記メンバーの座談会をもとに、記事を構成しました。



バスから見た天文台通りの花
（写真は市バスから撮影）

地元考証・坂本駿太の

しゅん散歩

地元民で、『過程』編集委員でもあったので、学校から調布・三鷹・矢野口、全ルート歩いてみたことがあります。バスルートから外れると、少し違った面白いスポットもあるのでご紹介します。調布方面だと、おすすめは深大寺周辺。実は深大寺は都内で2番目に古いお寺。鬼太郎茶屋も有名です。最近だと飛田給・西調布はオリンピックで盛り上がりを見せていました。三鷹方面だと、学校近くの国立天文台（本部）や、井の頭恩賜公園とその中にあるジブリ美術館。山本有三・太宰治ゆかりの文学散歩も出来ます。

調布校舎建設時は小5でした。建設中の校舎を見に行ったり、塾に行く途中、試走するスクールバスが見え、興奮して写真を撮ったりしたことを覚えています。

再開発の進んだ
調布駅近辺



三鷹の森
ジブリ美術館



自転車チャレンジ

出発したばかりのスクールバスを見かけると、どこまで着いていけるか必死で並走してみるのも、自転車組「あるある」なんだとか。バス内から見かけた方もいるのでは？

『M』編集部会メンバー

- 林田こずえ 2011年卒
- 高橋 凌士 2011年卒
- 三浦 直人 2011年卒
- 朝倉 貴紀 2012年卒
- 土屋 弦 2014年卒
- 岩田 滯夏 2015年卒
- 坂本 駿太 2015年卒
- 塩出 研史 2015年卒
- 垣 日菜子 2016年卒
- 高波 菜生 2016年卒
- 井畔杏里紗 2018年卒
- 橋本 大輝 2018年卒
- 小林 麻衣 2019年卒